



# 令和元年度 長沢中学校 学校評価報告

令和2年3月

学校長 吉川 和良

このたびは、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。

学校評価アンケートは、①開かれた学校づくり ②教育活動、内容の質の向上 ③学校の活性化

④教職員の資質向上を目的として、全校生徒、保護者を対象に実施しました。アンケート結果について、

ここに報告させていただきます。

## <評価アンケート実施対象者と回収率>

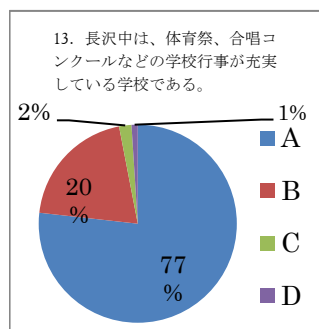
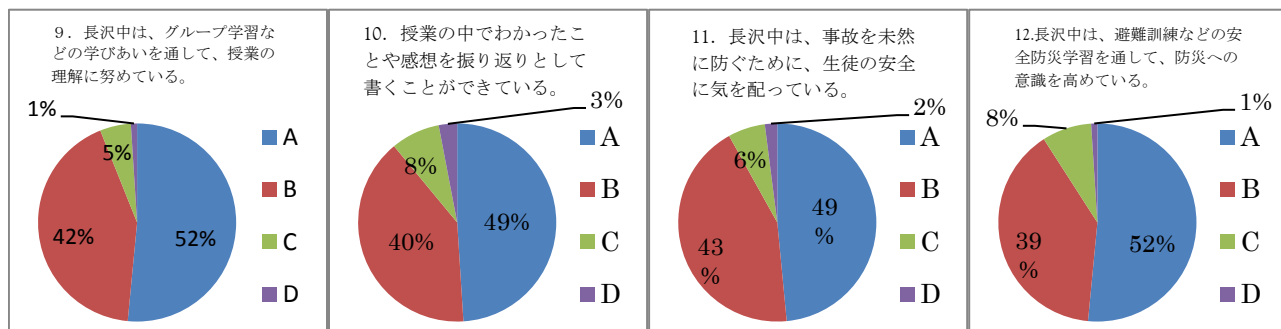
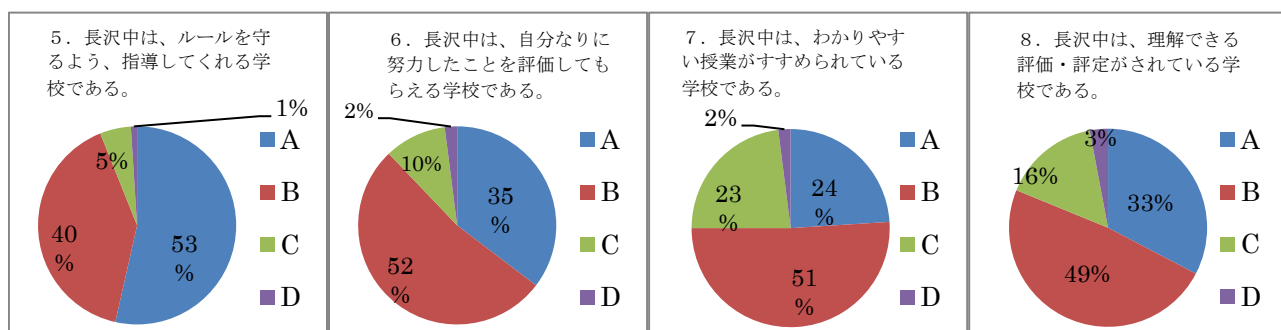
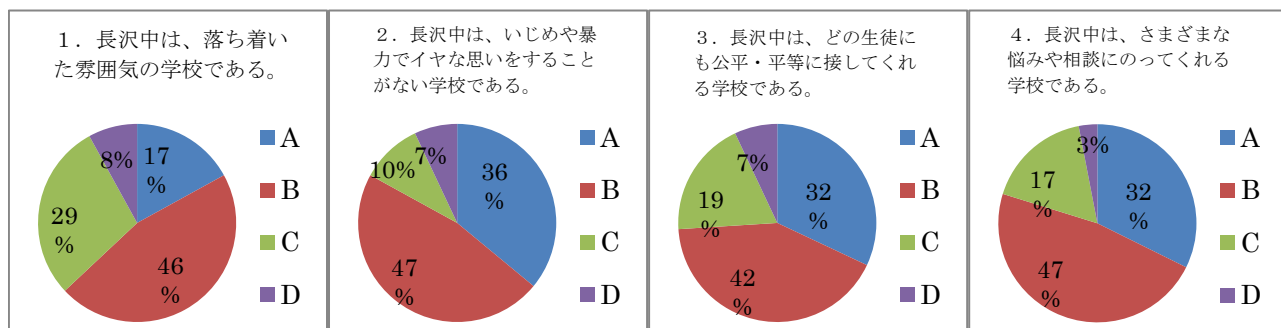
### 生徒による評価の回答数

1年生	127名 (在籍144名)	88.1%
2年生	119名 (在籍126名)	94.4%
3年生	139名 (在籍149名)	93.3%
5・6組	17名 (在籍20名)	85%
回答数	402名 (在籍439名)	91.7%

### 保護者による評価の回答数

1年生	126名 (在籍144名)	87.5%
2年生	85名 (在籍126名)	67.5%
3年生	119名 (在籍149名)	79.9%
5・6組	11名 (在籍20名)	55%
回答数	341名 (在籍439名)	77.7%

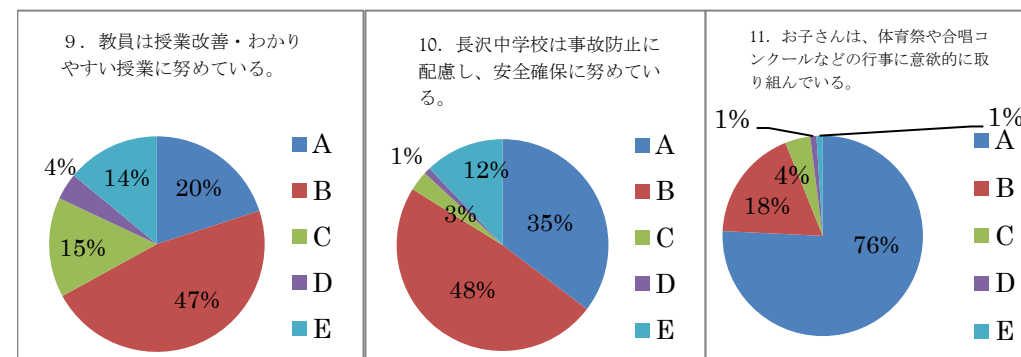
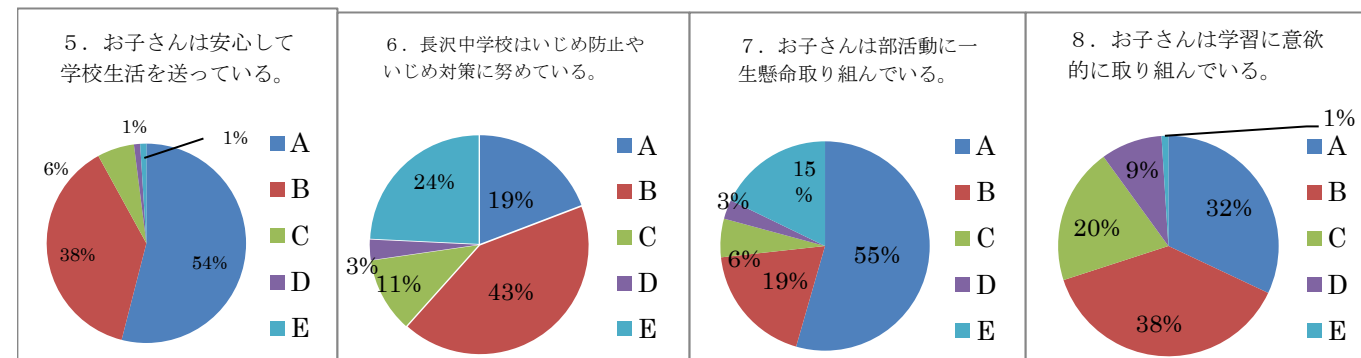
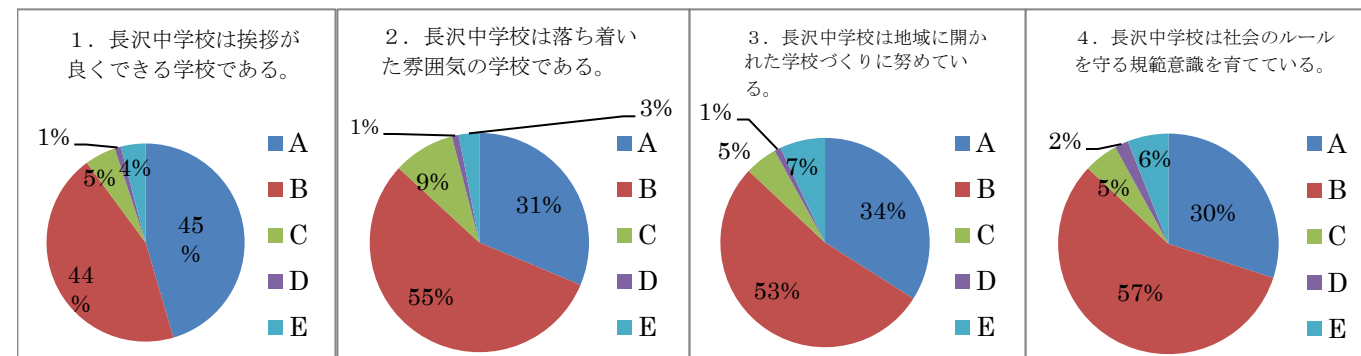
## <生徒用アンケート集計結果>



生徒用 A:よくあてはまる B:ややあてはまる  
C:あまりあてはまらない D:あてはまらない

## <保護者用アンケート集計結果>

保護者 A:よくあてはまる B:ややあてはまる  
C:あまりあてはまらない D:あてはまらない  
E:判断できない



【学校長より】

\*本校は今年度より、横須賀市教育委員会からフロンティア研究委託校に指定され、4年間の教育研究に取り組んでいます。各地で学力向上の指導にあたられている西留安雄先生をスーパーバイザーに迎え、テーマを「生徒が主体的・対話的で深い学びに取り組む授業づくり」として、豊かな学びと学力の保障を視点とした研究を進めています。研究では新学習指導要領の趣旨を理解し「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」という視点からペア・グループ学習やキーワードを活用した「学び方」についての研究を深めていきます。その意味では、生徒アンケート7・9・10は昨年度と比べると良くなっていますが、満足のできる結果ではなく次年度に向けて継続課題になりました。

\*昨年度、課題となっていた「落ち着いた雰囲気」については、下の【生活】に記載されている通りですが、否定的な回答をしている生徒が3割以上いることに目を向けなければなりません。日常の指導を丁寧に行うと共に生活アンケートを活用しながら早期発見、早期対応に努めます。

【教務】

\*体育祭や合唱コンクール等の『学校行事』は、『やや充実している』を含めると97%（昨年度は93%）の生徒が『充実している』と答えています。また、保護者からも同様の回答を頂いています。これは、毎年90%を越えていて、多くの生徒が前向きに行事に取り組み、充実感を感じています。（→生徒アンケート18・保護者アンケート11）

\*『開かれた学校づくり』を心がけています。授業参観を年4回（3年生は3回）実施し、保護者・地域の方々に公開しています。また、『学校へ行こう週間』では、『合唱コンクール』への各クラスの取り組みの様子等もご覧頂いています。

◇『学校行事』（授業参観・行事・PTA活動等）への保護者の参加意識は高く、毎回多くの保護者が来校されています。これからも、保護者のご理解とご協力を得て、豊かな教育を提供できるよう努力していきます。

【生活】

\*『落ち着いた雰囲気』や『ルールを守る』などの規範意識を問う質問については、昨年度よりも肯定的なポイントが上がっているため、これからも教職員が一丸となって、安心・安全に生活できる学校づくりに取り組んでいきます。（生徒アンケート1・5・保護者アンケート2・4・5）

\*『いじめ防止』については、生徒は肯定的な回答が多いですが、保護者の方は他のものと比べて低めです。いじめをなくすために様々な方策を取っていますが、一定数事案が挙げられているのも事実です。挙げってきた事案については、今後も解決に向けて一つひとつ慎重に対応していきます。（生徒アンケート2・保護者アンケート6）

\*挨拶に関しては、保護者からは肯定的な回答が多いですが、学校内では下降気味で、大きな課題として挙げられています。どんな場面でも大きな声で挨拶ができるように啓発していきます。（保護者アンケート1）

【学習】

\*評価・評定について、80%程度の生徒はおおむね満足し納得しているという結果でした。評価項目の配布や教科面談などを通して、評価について具体的に示せたのではないかと思います。ただ、授業のわかりやすさについては、20%を超える生徒が不十分と回答しています。この結果から、学びへの意欲を大切に授業や学習の定着の工夫や努力をします。（生徒アンケート7）

\*今年度は、学校全体で授業改善を行い、生徒の「主体性」や「学び合いの場の活用」を重視して取り組んできました。その結果として、『グループ学習などの学び合い通しての授業理解』については多くの生徒がその取り組みを実感していると答えています。このような授業の流れや取り組みが、生徒の学習意欲の工場へとつながるように、さらに授業改善を行う必要があり、今後も努力していきます。（生徒アンケート9）

【支援】

\*学校はいじめ防止やいじめ対策に努めていると62%の保護者が答えており、いじめや暴力で嫌な思いをすることがないと83%の生徒が答えています。これについて、昨年度より10%減少しましたが、17%の生徒が否定的な回答をしています。今後も、いじめを許さない、いじめのない学校・学級づくりを目指し、生徒たちのちょっとした変化も見逃さないよう心掛け、いじめ対策にさらに力を入れていきたいと考えています。（生徒アンケート2・保護者アンケート6）

\*「さまざまな悩みや相談に乗ってくれる学校である」と79%の生徒が回答しており、21%が否定的な回答しています。昨年度から8%減少していることから相談しやすい雰囲気づくりに努めた成果がわずかながら表れています。一方、21%という割合と「お子さんは安心して学校生活を送っている」という項目に対し「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と7%の保護者が回答していることを踏まえ、学校が安心・安全な場所となるよう、対話する時間を大切に、生徒一人ひとりへの理解を深めていくことが必要であると考えます。（生徒アンケート4、保護者アンケート5）

【管理・運営】

\*事故防止・安全確保については、生徒92%、保護者83%の方から良い評価を頂いています。一方どちらとも判断できないという回答の方も2桁あります。学校での活動を保護者の方にもご理解していただけるように広報などを活用し発信していきます。学校では日頃から校内を見回り、生徒が安全で過ごしやすい環境になるように努めています。また下校指導なども行い、事故防止に努めています。（生徒アンケート11、保護者アンケート10）

\*避難訓練などの防災学習については、生徒91%が防災への意識を高めているという回答でした。長沢中では年間3回避難訓練を実施しています。小・中合同の避難訓練、地域の方との合同避難訓練、校内の生徒・職員で行う避難訓練です。3回とも設定を変えていつ起こるかわからない自然災害に備えています。今後もいざというときに慌てないよう防災教育の充実を図りたいと考えています。（生徒アンケート12）